



建物は赤い屋根に白壁のロッジ風。後方に谷川連峰の一つ、白毛門（しらかもん）が見えます。

街道ノスタルジー

ドライブイン を訪ねて

群馬県
谷川岳
ドライブイン

関越自動車道水上ICから国道291号線に入り、利根川支流の湯檜曾川に沿って上流へ向かっていくと、谷川岳の麓に谷川岳ドライブインがあります。昭和初期に開業した登山者向けの山小屋が前身で、2代目社長が1986年から現在地でドライブインを始めました。関越トンネルが開通した翌年のことです。

「観光や登山の方だけでなく、地元の方が“ちょっとした贅沢”で利用されることも多いですよ」とはマネージャーの林 伯哉さん。お客さんのお目当ては、何といても“赤城牛ステーキ”。熱々のステーキを口に含むと、スッと噛み切れる柔らかさで、濃厚ながらも重くない肉汁が口中に広がります。併設の菓子工場で作る「谷川の月」や「生どら焼き」は軽やかな味わいで、何個でも食べられそう。ドライブのお供にもおすすめです。敷地内にキャンプ場、近くに温泉付きの宿泊施設があるので、泊まりがけで楽しむことも魅力です。

谷川岳ドライブイン

群馬県利根郡みなかみ町

湯檜曾220

9時～17時(季節により異なります)

不定休



徒歩5分の所にあるJR上越線「土合駅」は“日本一のモグラ駅”として有名。ホームへは486段の階段を下ります。



「赤城牛ステーキセット」(2,500円)。赤身と脂身のバランスが良いリブコース150グラムの表面を炙り、熱々の溶岩板に載せて提供します。自分好みの焼き加減になったら召し上がれ。



ふわふわのスポンジ生地に奥利根産の卵を使ったカスタードクリームを詰めた「谷川の月」(1個160円)。りんご、いちごなどの季節限定品もあります。



大きな窓で明るく温かみのある店内。真新しいテーブルは3代目社長とスタッフが手作りしました。



マネージャーの林 伯哉さん